



広報

みなみおくに

発行 南小国町役場 TEL 2 - 1111

印刷 穴井印刷 TEL 6 - 3118

町の人口

9月末現在

総人口 5,659人

男 2,692人

女 2,967人

世帯数 1,359

No. 156



11

月号 / 51

国道212号線バイパス完成
開通11月中旬に!!

市原 ~ 大観望間 4 キロ短縮

1、実施日程 (11月)

場 所	1 回	2 回	時 間	担当医
市原 保育所	4 日	11 日	13:00~13:30	室原医師
市原 小学校			13:40~14:40	
星和 小学校	8 日	15 日	13:30~14:00	蓮田医師
満願寺 小学校			14:10~14:40	
南小国 中学校	9 日	16 日	13:00~13:30	室原医師
中原 小学校	17 日	24 日	13:30~14:00	蓮田医師
中央 公民館	18 日	25 日	13:00~13:30	室原医師
波居原 公民館			13:00~13:20	
黒川 小学校	19 日	26 日	13:30~14:10	室原医師

● 年末調整説明会の
お知らせ
昭和五十一年分年末調整説明会
が次のとおり開かれます。
日時 昭和51年11月18日(木)
午後1時から3時まで
場所 南小国町役場
● インフルエンザの
予防接種が
始まります

役
場
だ
よ
り

● 小児マヒ生ワクの
投与を行います

十一月三十日(火曜日) 午後一
時三十分より二時三十分まで役場
第一会議室にて行います。
対象者は昭和四十九年十二月一
日から昭和五十一年二月二十九日
までに生まれた子供です。

法律相談について

十一月の法律相談は二十五日午
後一時半から役場で開きます。
ご希望の方は二十四日まで町民
相談室へご連絡下さい。
料金は無料です。

衆議院議員総選挙来る!!

投票日 十二月五日予定
※不在者投票は早目に
投票日に業務等で投票すること
ができない見込みの方は、十一月
十五日(告示日)から不在者投票
ができます。

議会だより

九月定例議会は十一日に開会し途中休会、二十七日に再会されました。

十一日に提案可決された件については十月号に掲載しましたが、二十七日に可決しました事項は次のとおりです。

- 一、町営住宅・教職員住宅の家賃が十一月分より三〇％高くなりました。
- 二、町会議員の定数が十六名（現行十八名）に決まり、次の一般選挙から適用されることになりました。
- 三、この議案については、議員提案によるもので、特別委員会に附託の上検討された結果によるものです。
- 四、一般会計補正予算が六千四百五十四万円が追加され、本年度予算額の合計が十一億四千六百三十五万円となりました。
- ※歳入の主なもの
 - (1) 地方交付税 一千万円
 - (2) 県補助金 一千五百五十五万九千円
 - (3) 基金繰入金 三千四百六十三万一千円
 - (4) 町債 三百四十万円となっていました。

※歳入の主なもの

- (1) 総務費関係
 - 下町・上町の部落集会所設置補助金百三十九万円が追加されました。
- (2) 民生費関係
 - 老人福祉電話架設費十五合分七十五万五千円が追加されました。これは一人暮らしの老人世帯に県から三分の二の補助により架設するものです。
- (3) ミネラルウォーター検査委託費（立岩・平野台）を十二万円追加しました。
- (4) 農林水産業費関係
 - 南小国町養蚕組合が解散され農協に吸収されることになり、養蚕組合借入金残額に対する助成金七十六万円が追加されました。
- (5) 山村振興事業関係で布目線工事費が予算計上されました。
- (6) 林業振興費で中核林業計画補助金八十八万五千円、林分工事費及びその関連費用が追加されました。
- (7) 林道立岩線追加工事及び平瓜線追加工事費が追加されました
- (8) 商工費関係
 - 中小企業に対する資金貸付のための町出損金として四十九万九千円が追加されました。
- (9) 土木費関係
 - 町営住宅内（杉田・新町）の道路舗装工事費が追加されました。

消防無線が完成する



町長 藤堂 真人

町では今後の火災や水害などの災害にそなえて、本年度と来年度の二年間に町内全消防車に無線を取り付けることを計画しました。

本年度は、役場内の基地局と消防車十二台、役場車二台に取付けが終り十月二十七日電波管理局の検査を受け、開局の運び



となりしました。工費は六百五十万円、国庫補助金三百九十万円、残り二百六十万円についても借入金により実施するものです。

消防無線が迅速な消防活動を行なうみなさんは、たばこに「たばこ消費税」という税金がかかっていることを御存じでしょうか。このたばこ消費税は、みなさんが毎日買われるたばこの代金の中に含まれております。ですから愛煙家のみなさんは、毎日、たばこ消費税をおさめている訳です。この税金は、専売公社が各町村別のたばこの売りさばき本数に応じて次の計算式で各町村へ収めることになっています。

当町のたばこ消費税は年間九百万円から一千万円程あり大きな財源となっています。

どうかみなさん、たばこは町内で買ってください。そして、町の財源確保に協力して下さい。

本数×4円67銭4厘× $\frac{181}{100}$

(たばこ一本当り約85銭)

たばこは町内で

買いましょう

- (6) 消防費関係
 - 緊急連絡用トランシーバー購入費が四十二万五千円追加されました。
- (7) 教育費関係
 - 中学校体育館床張替工事費が追加されましたが、床下が低い上湿度が高いため腐敗がはげしく、議会からの指摘により、現在の計画では又数年後には改修を予定されるので、今一度技術的に検討して議会に報告した上で実施するよう指摘がありました。（この件、後日の議会にて審議されました。）
- (8) 災害復旧費関係
 - 葛浦水路・平瀬水路、道路で蛇の尾線・磯ノ本線・立岩線・吉原線・北二又線・河内線・上矢田原線・和田玉来線・中湯田

赤迫線・菰田岡倉線・矢津田小国町線・小原仁連線・田の原白川線・永山線の災害復旧工事費一千五十六万円が追加されました。

農村青少年講座実施について

この度農業改良普及所主催による農村青少年の勉強会が、次の要領で実施されることになりました。そこで今その受講生を募集していますので、町内で農業を志す青年はふるって参加して下さいようお願いいたします。

- 1.趣旨 農業を志す青少年に対し農業及び生活に関する高度な専門技術並びに経営管理能力、組織化能力を修めると共に地域農業に対する旺盛な意欲、及び創造力の涵養並びに農村社会形成者としての人格識見の向上をはかり、近代的農業の担い手にふさわしい農業者の養成をはかることを目的とする。
- 2.実施主体 阿蘇農業改良普及所
- 3.開催期間 自昭和五十一年十月至昭和五十二年三月
- 4.開催場所 農村青年活動促進施設等で実施する。
- 5.研修受講対象者 研修の受講対象者は在町する青少年で農業及び生活に関する専門的な技術経営能力について自家営農の実践を通して積極的に学習する意欲をもつ者とする
- 6.講座部門 研修講座は新規就農者を対象

明るい選挙推進研修会に参加して〈2〉

講師は、尚綱短大教授堀光之助先生、講演の主な内容は、世の中はだらくしている、総理大臣でも逮捕されるという事は今まで歴史になかった。国の人達は理想を失っている。悪い事をする人が多くなった。人間生る為には必要なものがある、必要な収入をもとめて努力する事は悪い事とはいえない、あたり前の姿である。然し他人も又同じである。戦争前には忠君愛国の旗印があった。シルシに合せる為には自分の利益ばかりはできない。大君の為にささぐるという時代はだらくしていなかった。今はそんな事はない。こうした時

とした基礎講座とにわけて開講することとし講座の選択は受講者の希望する講座に受け入れるなお詳しくは小国改良普及所、あるいは南小国町4Hクラブ、河津耕治二〇三三五（電話）までお

問い合わせ下さい。
※この学習会の一つとして来る十一月二十四日PMの〇より小国町々民ホールにおいて、高千穂正史（熊本市仏蔵寺住職）氏による講演会「農村と都市の若者」が開かれることになりました。青年農業者はもとよりその他多くの方々の参加を希望します。

講師は、尚綱短大教授堀光之助先生、講演の主な内容は、世の中はだらくしている、総理大臣でも逮捕されるという事は今まで歴史になかった。国の人達は理想を失っている。悪い事をする人が多くなった。人間生る為には必要なものがある、必要な収入をもとめて努力する事は悪い事とはいえない、あたり前の姿である。然し他人も又同じである。戦争前には忠君愛国の旗印があった。シルシに合せる為には自分の利益ばかりはできない。大君の為にささぐるという時代はだらくしていなかった。今はそんな事はない。こうした時

でもやりかねない。それは世の中の仕組に関係があるようだ。議員の人もそうしなければ生きて行けない、大人の世界に個人を責める訳にはゆかない。それは我々自身が反省しなければいけない。全世界どここの国にも有るようだ、日本には特に有るようだ。日本文化の特性でもあり、知命的欠陥でもあろう。日本人には公德心が無いようだ、そこに問題がある。外国人は個人主義といっても社会は一人々々の個人からでき上っているという認識がある。日本人は勝ちさえすれば良い、買収はいけな事だとわかっていてはやりかねない。こうした日本人の非道徳的行き方、集団的くらし方が根強く残っている。日本人は自主性が無い。東正ができない、民主的暮し方をしようと思うなら止めるべきだ、

戸籍謄本の請求には

『使用目的』を

明らかに

来る十二月一日から戸籍謄本の交付請求のしかたが改正されます。改正の理由は戸籍を不当に利用して、住民のプライバシーを侵害することのないようにすることにあります。今後他人の戸籍や除籍の謄本を請求するときは、「請求の事由」、つまり何の目的に使用するかを具体的に示していただくこ

どちらが良いか、今、岐路に立たされている。今、我が国には老人も沢山いる。又婦人や青年層も、こうした人々が一体となって学習をつみ重ねて行き、自分の思う事を正直にいう、その中から共通点を見出し、本根を出す。「デスカッション」・教養学習・学級づくりなど、こうしたつみ重ねを行う事によって、私達の気がつかない内に大きな力となって政治を動かす事もできよう。真底から話合、こういう点においては、三木さんもアップレではなかるうか。立まえ…と本ネ…も解決できよう。

以上研修のあらましを報告します
南小国婦人会
中原 支部

とになります。もし、その請求が不当な目的によるものであるときは、これに応じられないこととなります。また、戸籍の閲覧はできなくなります。尚 郵便で請求する場合の手数料は必ず現金書留か、郵便局の定額小為替で納めてください。本人といつわり、うその事由を示して戸籍の謄本の交付を受けたときは、過料に処せられることがありますのでご注意下さい。

福祉だより

老人スポーツ大会

開かる!!

恵まれた秋晴れのもと、去る十月三日・日曜日午前十時より、小国高等学校グラウンドにおいて、第四回阿蘇郡北部地区老人スポーツ大会がひらかれました。
南小国町・小国町の各老人クラブより選ばれたおよそ七百数十名の選手たちは、魚つりやボーリン



老人スポーツ大会 (小国高校グラウンドにて)

グ等七種目の競技に終日熱戦を繰りひろげました。
当町からは十八の老人クラブより男一八六名・女二一九名・合せて四一五名の選手のかたが出場しました。

また例年応援をお願いしている南小国町体育協議会から今年も十八名の役員のかたが応援にかけつけ、出発係や決勝係、選手係等にわかれ、老人選手の世話にかけつり廻り、陰ながら大会をバックアップしていただきました。

山林地区住民総合健康診査の結果がわかりました!!

受診者六〇七名中、異常の認められなかった人二八五名、何らかの異常を認めた人三二二名うち精密検査を必要とする人五九名、治療を必要とする人五五名でした。
異常を認められない人二八五名を除き、異常を認める人三二二名のかたがたにはすでに受診結果通知を差しあげております

ので、よろしくお願い申し上げます。



第二回特別弔慰金 国庫債券の担保 貸付けについて

※借受人の資格

国債の記名者とする

※資金の使途

事業資金に限る

※貸付額

国債の未償還金から貸付日以降最終賦札による償還日までの利息相当額を差引いた残額以内とする

※貸付期間

貸付日から担保に徴した国債の最終償還日までの期間以内とする

※貸付利率

年6パーセント

※償還方法

国債の償還日を支払日とし、国債の償還金を元利金に充当する

その他詳しいことは、住民課福祉係までお尋ねください。

福祉年金が

引上げられました

十月より年金額が次のように引上げられました。引上げられた年金は昭和五十二年一月の支払期から支給されます。

・老齢福祉年金

月額 一、五〇〇円

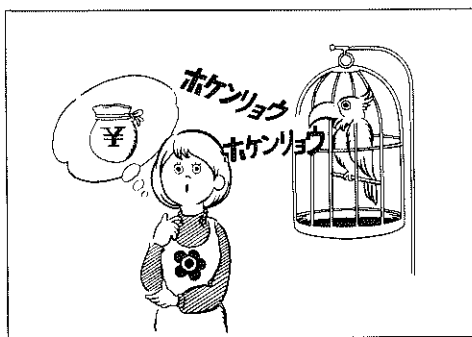
・障害福祉年金

月額 一、三〇〇円

二級 一、五〇〇円

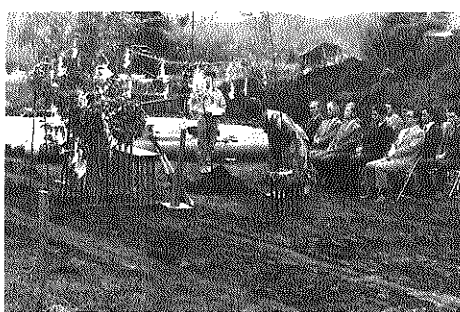
・母子、準母子福祉年金

月額 一、七〇〇円



中原小学校プール

建設の起工式



中原小学校プールの地鎮祭

体育館の裏側にプールが建設されることになり、九月三十日起工式が行われました。プール建設は南小国中学校、市原小学校に次いで三番目の建設になり、総工費二千七百三十九万円、工事の完成は十一月の終り頃になる予定であります。
起工式には藤堂町長ら中原小学校関係者のほか、教育委員会が出席、藤堂町長らがクワ入れをし、工事の安全祈願が行われました。

去る九月二十一日・二十二日の二日間、熊本の市民会館に於いて第二八回九州地区地域婦人大会が開かれました。南小国地区より六名の役員が一泊二日の研修をさせて頂きました。遠くは沖縄県の会員を始め、各県より正会員、オブザーバー約一八〇名の会員が一堂に集い全体会場を市民会館で、シンポジウム日本生命ビル・医師会館・明治生命ビル・ニュースカイホテルに会場移動して開かれました。

この大会の主題「変化する社会情勢の中で地域婦人会の果たす役割」を次のような分科会にわかれて討議しました。

第一分科会

婦人会の組織の強化と運営の問題

第二分科会 教育の問題

第三分科会 資源と消費の問題

第四分科会 福祉の問題

これらのシンポジウムに私達もそれぞれわかれて出席しましたが、各県より集まっております為か会場は活発な意見や討議が行れ、司会者助言者ともに県内外より、その道のベテランを揃えた会はずが九婦大会の名にふさわしい雰囲気は溢れていました。大会二日目はやはり市民会館で八時三十分レクリエーションに始まり、シンポジウム（分科会報告と提言）、全体討議、宣言決議を

して十一時四〇分閉会、これで二日間の大会日程のみのり多き学習を終了したわけですが、地域婦人会連絡協議会の組織のもとに集い一つの主題のもとに熱心に学習し討議する会場の熱気は、想い出しても未だ私の胸をあつくするような雰囲気でした。そしてその大会を堂々と主催運営して行くのが、わが地元出身の波多野先生で、主催者の心労を思いやると同時にひそかに誇らしく万雷の拍手を心の中で先生にお送りした次第でした。僅か二日間の学習でしたが、閉会にあたって西に東に別れ行く会員

くなりつつありますことは、まことによろこばしいことです。又日本人の技術の向上はめざましく、自動車に例をとって見ますと輸出9に對して輸入1の割合で、既に白人の造ったものより日本人の造ったものが好評です。資源の乏しい日本は、外国より原料九五%を輸入して外国に加工して輸出し、国際競争力があります為日本円の相場は強いのです。このことはどの内閣ができましたも、この構造は変わらないし、又維持せざるを得ないのです。

ことになるかも知れません。原子力エネルギーに頼るのも問題ですが、さりとて油熱発電も以上のことで非常に問題があります。②又武器・核兵器の問題があります。米ソにある核兵器の蓄積量は莫大なものす。現在広島にうまれた原水爆禁止運動も純粋な運動から変化して、社共政争の場となつてしまつたことは残念なことです。我々は国際的な世論をつくるべきで核を持たざる国、中小国が団結して持てる国に圧力をかける運動をおこなねばなりません。③次は人口問題があります。

ります。現在日本人技術者がワイリピンなどで米作りに協力し地元の人達に尊敬の念をあつめていることも事実で、人口問題と食糧問題は今後の大きな課題です。④次にレジャーの問題があります。最近日本人もレジャーを求めて行く傾向が強くなって来ていますが問題はこのレジャーの使い方如何に依つて滅ぶ運命にあるように思えます。イギリス等、時間は日本人よりよく守る習慣があります。国民全体がレジャーをむさばり、イギリス病といわれる位仕事の能率はあがらずおまけにストライキ等の追いうちで、どうしても国際競争力が低下せざるを得ず、このままではゆけば滅び行く可能性もあります。その点中国は非常な努力をして次の世代に何か残そうとしてゐる為、苦難な時期をきり抜けて生き残れるだろうといわれています。さて我々日本はどうでしょう。レジャーの使い方方を我々自身で考え日本人の持つ勤勉な一面も何とかして子孫に残し、次の世代を生きなければならぬと思ひます。

九州地区地域婦人大会に参加して

に言い知れぬ名ごりおしさが、ただようのは組織としてのつながりがそうさせるのでしょうか。皆ふり返りつつ会場をあとにしました心の中にある大会の雰囲気は万分之一も皆様にお伝えできぬことが残念です。第一日目の講演の要旨をまとめてみました。

世界はゆくえ日本人の生き方
東京大学教授 衛藤藩吉
私達日本人の将来は短期的に見るならば明るいけれども長期的に見るならば暗いものがあると思ひます。まづ短期的に見ますと日本は外国に比べて所得の格差が小さ

った時は危機をむかえる時で、このことは我々各人が考えねばならぬ問題です。では長期的に見ますと、①先づ資源の問題であります、今後三〇年から四〇年も経ちますと石油など枯渇の時期をむかえます。それに汚染の問題があります。現在のように大量のエネルギーを必要とする為には水力発電もありますが、油熱発電に頼るところが大き

現在世界人口は四〇億ですが、紀元二千年には、六〇億越すと予想されています。或る学者は地球上に大戦死がおこると予言してありますが、先づ農作物の値段があがることになるでしょう。肉中心の食生活では飼料を植えて牛を養つた場合、一ヘクタールに五人しか養えません、米であれば一四四人養えることになります。中近東に日本の農業技術者が行き、大農場を開拓しましたが引き上げたところの荒地になった例もあり、又ナイロビの近くケニアにトマトを植えたところが土地に適していたのか、今では産地になった例もあ

赤馬場婦人会長



「農協の仕組みと役割り」(その六)

共同購入は賢い消費者になる活動

昔の農家は米麦や野菜はもとより、みそ・しょう油も自家製のものを食べていました。土と水と太陽を相手に作物をつくりその作物で生活物資まで作り出していたわけで、農業生産そのものが生活であったといえます。

農家が自給自足経済を維持していた時代であれば、農協事業も、営農指導事業だけで事足りたわけです。

しかし、最近では、営農と生活とは別々になってきています。農家でも、生活に必要な物は全んど購入する仕組みになってきました。いわば、農家は生産者であると同時に、消費者でもあるわけです。こうした農家経済の仕組みの変化によって、農協の共同購入事業も生産資材重点から、生活物資にも大きなウェイトをおくように変わってきています。

購買事業という、利用する側からみた場合、共同購入によって生産や生活の資材を安く手に入れる事業だと考えてしまいがちです。ところが、農協の購買事業というのは、商店より安く品物を買うための事業といった、底の浅いもの

ではありません。ただ安い物を買う事だけが目的であるなら、スーパーマーケットのバーゲンセールと余りかわりありません。

農協は商店とは違って、組合員の暮らしを守るという目的をもった組織です。共同購入活動は、賢い消費者になるための消費者活動でもあるわけです。もちろん消費者活動の最終目標は「よい品物を安く」ということです。しかし、現代の商品については、何でもかんでも安ければ、とばかりはいえません。欠陥商品やインチキ食品や、中には有害食品でさえ堂々とまかり通っているからです。

現代は情報化時代とか宣伝の時代といわれます。テレビをとおして毎日商品のコマーシャルは、直接組合員の茶の間とびこんできます。どの商品もバラ色の宣伝文句につつまれています。インチキ商品をつかまされる危険は、非常に多くなっています。

そこで賢い消費者になる為には、価格は果して適正に決められているかどうか、独占価格や管理価格で不当な利益を上げている企業があるなら、それをやめさせる運動をおこなすことも必要になってきます。豆腐やかまぼこにA F 2のような有害薬品が入っていないかどうか、あるいはハムなどに、表示された以外の材料がまじっていないかどうか、商品研究をやることも大事なことです。

さらに、こうした企業の生産する商品の購入にたよるだけでなく、食料品などは出来るだけ自家生産で自給するという事が、今では大切な事です。野菜を買う農家も増えています。家庭菜園の計画によって栄養バランスを考えた野菜の自給も必要です。さらにサラリーマン家庭をも含めて野菜を地元で自給出来るように、青空市場を開く事も考えられます。又自家生産の野菜果物を利用して、漬物・ジャム・ケチャップ……など、手づくりの加工食品をつくることも、農家では是非やってみたらどうでしょうか。インフレ対策として身近な方法だと思えます。

健康を守る運動

今、農家生活で大きな関心は健康の問題のようです。最近では、農家の主婦でも、パートで工場などに働く事が多くなってきました。そういう家庭では、つい食事もおろそかにされがちで、主婦は昼の仕事で疲れ、休日には我が家の農作業の疲れが重なって貧血などの症状があらわれるそう

です。専業農家でも、このような状況があります。農村では医療施設が不十分であり健康管理に対する関心がうすいため、十分な対策がとられていないのが実情です。このため、集団検診の実施や健康相談日の開設を求める声も高まり各地の農協で健康管理活動に取り組みはじめています。具体的には組合員の健康の実態がどうであるかの健康調査から始めて、町や保健所などと連絡をとって「集団検診」を実施し、さらにその結果、病気の人には病院を紹介して貰います。又病気がないように労働時間間の調整や食生活の改善を生活指導としてすすめています。

大切な生活班づくり

この農協では、生活の問題に取組む組合員の組織がありませんでした。そこで今各地の農協ですすめられているのが、生活々勤の基礎組織である生活班の育成です。生活班は、隣り組位の十戸前後が適当で、これくらいが一番まとまりがよいようです。

南小国町では、現在の農協婦人部の班を、まとまりのよい位の人数に整理しなおして、生活班として活動してもよいし、現に活動を行っている班もあります。活動内容としては、(1)農協の生活々勤に対する意見や

- 要望を積み上げる。
 - (2)商品研究や学習会を開く。
 - (3)共同購入活動をすすめる。
 - (4)生活設計運動をすすめる。
 - (5)健康を守る活動をすすめる。
 - (6)学習活動や文化活動をすすめる。
- などが考えられます。こうした自主的な組織活動があつてこそ、農協の生活々勤は実のあるものに育つてゆく事でしょう。

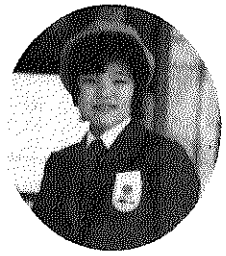
(農協 宇都宮)

微々たるムダでもチリが積もれば……

スイッチを入れたらすぐ画面が出る瞬間受像型カラーテレビ、急いで見たいときは確かに便利だがこれはブラウン管を暖める六ワット程度のランプが常時ついているため、考えてみればムダ。一台の電力消費量としては微々たるものでも、日本全国の普及台数千四百万台で計算すれば、八万四千キロワットにもなる。

冷蔵庫の裏側にはモーターがついているが、これはときどき掃除機などでは取り、通風をよくしてやらなくとも、冷凍能力が低下するばかりか、一ヶ月にして十七キロワット時の電力ムダ使いになる。掃除機も同様よくほこりを落さない、吸引力が発揮できない上に電気をよくに食う。





宇都宮 美鈴さん

去る八月二十六日から九月八日まで九州青年の船に乗船する機会を得ることができ、中国訪問をしてまいりました。ここに中国訪問の報告を致したいと思います。

私の見た中国、それは驚きと感激の連続でした。

盛大と言うか、絶大と言うべきか

それはそれはもの

すごかった歓迎ぶりにしても、參觀した学校や、工場にしても、又何でもないような小さなこと（例えば食事の味や水、服装）にしても、私にとって大きな驚きでした。報告するべきこと報告したいことは数限りなくあるのですが、ここでは特に印象的だった、常に戦争に備えている中国の一面について述べてみることにします。

私の属した第五班は沈阻で鉄道工場を參觀したのですが、ここで私たちは地下に作られている工場を紹介されました。中国は広大な土地をもつ国ですから土地がないからという日本の地下街や工場とは意味を異にします。まさにそれ

は戦争に、備えた工場でした。工場主任は、はっきり「ここは戦備工場です。私たちはソ連の侵襲に備え、いついかなる時戦争が起っても困らないようにしております」と答えたのです。さらに「発電所なども地上の発電所以外に地下にもあり、戦争が起った時でもいつでも電気が送れるようにしている」と言うのでした。他に沈阻市にはいくつもの地下工場があり、いたる所地下道が張りめぐらしてあると言うのです。これは旅大市でも同じでした。市内全域に地下道が網の目状に掘られていました。

が、日本の高度成長期に育った私にとってそれはただただ驚くばかりでした。テレビや映画などでしか見たことのない銃や大砲が飛上からんばかりの大爆音と、ものすごい地響きをたてた時戦争の恐しさ悲しさを始めて認識する思いでした。口では戦争はいけない、起してはならないと言いつつ、私たちは特に関心した。私は本当は何か特別な思いがあるのか、そんな空しい気持ちにおそれました。軍事訓練は義務である中国です。演習をしてくれた人は一般家庭の人や工場で働く人たちは

争は起る」と断言します。特に緊迫した状態にあるソ連に対して警戒が強いようでした。中国は本気で戦争に備えている、中ソ国境に近い中国北部を參觀し、そう痛感しました。

最後九州青年の船に乗船した全般的な感想を。二週間という短い訪問活動でしたので、私の見た中国はほんの一部にすぎません。しかし日本に生れてよかった、本当にそう思います。何よりも日本は自由です。そして豊かです。個人々々がそれぞれの考えをもち、それぞれの生き方をし、始めてそのありがたさに気づきました。

『日中友好九州青年の船』に参加して

た。

又私たちはここで地下商店街（戦備商店）に案内されました。これは山の中腹をドーナツ型の円形にくり抜かれた延長四百メートルの地下デパートで、入口には「人民力をあわせて戦争に備えよ。高く警戒せよ。祖国防衛」と言うスローガンが掲げられていました。地表から薄暗い斜坑を百メートル余り入ると、雑貨、生鮮、衣類などに別れた売場があり、同時に七千人買物ができるといいます。ここには他に千人程度収容できる豪華な大ホールもあり、それは巨大な地下壕でした。旅大では団員全員軍事訓練を見る機会が与えられ、幾種類かの演習が行われたのです。

です。17から18才の女性が整然と列をなし機敏な行動で大砲を組立て見事の（ま）を討つ時、7才の小さな女の子が、百メートルも離れた小さなを、一発としてはずすことなく討った時、本当に身につまされる思いでした。中学校を參觀した時もそうでした。校庭では炎天下軍事訓練をする生徒集団がいましたし、校舎のすぐ下では、数十人の中学生がスコップをもち、食糧を貯えるための地下壕を掘っていました。他に中国訪問中何回もの写真規制があったのも戦争というものを配慮している一つの表れだったような気がします

しかしその反面自由があるがゆえ、その上にドカッと腰をすえ、それをふりまわし、なすべきことを忘れているのではないか……。そんな不安が私の心をよぎったことも事実です。中国は今はまだ貧しい国です。しかしこれからの国です。未恐しい気がします。

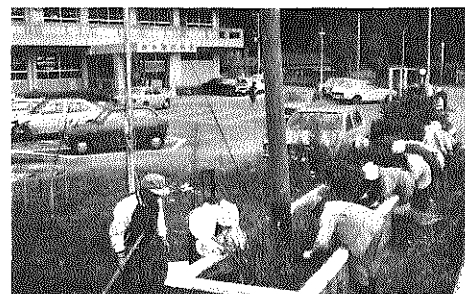
今回九州青年の船に乗船したとは、非常に貴重な体験でした。社会体制のまったく違う中国を、自分の目で見、耳で聞き、体で感じることができたことはもちろん、四回の事前研修や規律正しかった船内研修で学んだことも、九州各県から集まった同年代の仲間を話し語り合うことができたこと

は戦争に、備えた工場でした。工場主任は、はっきり「ここは戦備工場です。私たちはソ連の侵襲に備え、いついかなる時戦争が起っても困らないようにしております」と答えたのです。さらに「発電所なども地上の発電所以外に地下にもあり、戦争が起った時でもいつでも電気が送れるようにしている」と言うのでした。他に沈阻市にはいくつもの地下工場があり、いたる所地下道が張りめぐらしてあると言うのです。これは旅大市でも同じでした。市内全域に地下道が網の目状に掘られていました。

が、日本の高度成長期に育った私にとってそれはただただ驚くばかりでした。テレビや映画などでしか見たことのない銃や大砲が飛上からんばかりの大爆音と、ものすごい地響きをたてた時戦争の恐しさ悲しさを始めて認識する思いでした。口では戦争はいけない、起してはならないと言いつつ、私たちは特に関心した。私は本当は何か特別な思いがあるのか、そんな空しい気持ちにおそれました。軍事訓練は義務である中国です。演習をしてくれた人は一般家庭の人や工場で働く人たちは

争は起る」と断言します。特に緊迫した状態にあるソ連に対して警戒が強いようでした。中国は本気で戦争に備えている、中ソ国境に近い中国北部を參觀し、そう痛感しました。

最後九州青年の船に乗船した全般的な感想を。二週間という短い訪問活動でしたので、私の見た中国はほんの一部にすぎません。しかし日本に生れてよかった、本当にそう思います。何よりも日本は自由です。そして豊かです。個人々々がそれぞれの考えをもち、それぞれの生き方をし、始めてそのありがたさに気づきました。



市原睦美会の清掃奉仕作業

清掃ありがとう

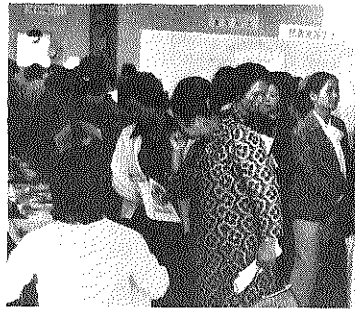
さる十月十三日、市原睦美会（会長 徳丸新氏）会員二十六名の方が早朝より、本年六月の奉仕に続いて、庁舎の草むしり等をして、きれいにしてくれました。役場の職員も感謝しております。有難う御座居ました。厚くお礼申し上げます。

消費生活展視察に参加して

五日午前八時、南小国町役場前を出発、役場より係の方三名と会員五十三名を乗せたバスは大観峰外輪山より眼下に阿蘇谷をながめながら、紅葉には少し早い深瀬溪谷を下り、黄金の波打つ菊池平野を走り、十時すぎ目的地玉名市民会館につきました。

二階の会場にはくらしの現状、問題商品コーナー合成洗剤と石けん消費者団体コーナー、相談コーナー、商品テストコーナー、焼物教室等が展示され、それぞれのコーナーには専門の係の方がおられ、会員の質問に丁寧に説明をしていました。手作り品コーナーには各地の会員から提出された生活の工夫品で、古ストックキングを利用した物や、作業服の改良したもの、タオルを利用した幼児の肌着等たくさん工夫品が展示され、農産加工品は自家生産物を使った味噌納豆、豆腐、果物、野菜の砂糖漬や、味噌漬等加工品が出品されていました。編物や小物も手作りと思えないようなきれいな物ばかりでした。南小国の会長さん出品の漢方薬二十種も大変好評で、たくさんの方がメモしておられました。お父さんのお古で子供用品を考え工夫してみたり、洋服の端布等で

作業用の手巾やネックカチーフのようなものを作って見たら、これ一つ一つのファッションではないかと思えます。自家産物で味噌、納豆果実酒等、お姑さんと一緒に作って作ったらしいというものが出来るだろうと思ひながら、出品の数々を見学して廻りました。



消費生活展示会場を視察する婦人会員

相談コーナーの消費生活では家計簿を楽しくつける方法や教育と家計、家庭電気製品、栄登の事など消費生活に大変必要な事ばかりでしたが、私勉強が足りなく色々な事で認識不足の自分を恥かしく思ひながら会場をあとにしました。

黒川婦人会々員

●物の大切さを再認識

秋晴れの好天氣に恵まれた十月五日、私達婦人会員は玉名の消費生活センターに視察に参りました。

食品添加物の有害、或は食品の製造・加工・販売・それ等を使用される容器等々、私達が何回となく聞かされていながら、日常わりと重視することなくおざなりにしてきたいろいろな面を新たに認識させられました。又手作り品コーナーの更生品をみまして痛感いたしました。わかつてはいながらなかなか実行にはうつさず、唯忙し忙しいで、テレビをみる暇はあっても針を手にして夜なべ仕事にせいを出すなんて事は、めったにないことです。終戦後、品物が多く出廻り、年々に流行が変化してゆく今頃では、ほとんどの人が流行おくれの物をきるより、沢山出廻っているデザインの良いきれいな品物に思わず目をうばわれ、ついつい買ってしまう。昔着用していた洋服、着物はタンスの底にしまひこみ、それを出して更生して着るなんてことは、そうたやすくするものではありません。これは私ばかりではないと思います。あの戦時中、物資不足で不自由な時代を青春時代とし、いろいろな物を工夫しつつ、更生品に満足しながら、つましく生活してきた時代の一人でありながらそれを忘れてしまひ、すっかり現在の社会

になんてしまった自分の周辺をふり返ってみます時、なんと無駄の多い生活をしていたことかと今更ながら反省させられている私です。

波居原 井野君江

秋季全国火災予防運動を展開！

実施期間

11月26日より12月2日まで

消防庁は火災多発期を前にして国民一人一人の防火意識の向上を図り、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期するため、運動期間中の重点目標を「家庭や職場の中での防火体制の確立」と、「人命安全の確保を図る」ととし、実施要綱が次のとおり決定されました。

- ① 「全国一斉実施事項」
 - ② 出かける前、やすむ前には火の元を点検しよう。
 - ③ 寝たばこや、たばこの投げ捨ては絶対に止めよう。
 - ④ ガスコンロや暖房器具は使用方に気をつけよう。
 - ⑤ 火事の場合のお年寄りや、幼児の安全な避難方法を考えよう
 - ⑥ 火気の使用場所は整理・整頓して安全を確かめよう。
 - ⑦ ガソリンや灯油などの危険物は安全に管理しよう。
- 「火災は人災
防ぐはあなた！」

戸籍明暗

生年 月日	出生者	保護者	住所
9・23	村上 学士	吉宏	古賀
9・25	武田 雄介	信利	樋の口
10・5	穴井 孝幸	孝孝	馬場上
10・12	麻生 貴美	勉博	和田下
10・14	渡辺 修二	修	中杉田二
死亡 月日	死亡者	喪主	住所
9・29	河津袈裟松	邊	中湯田
10・8	佐藤 ヒデ	荒喜	田の原
10・9	渡辺富士男	なみえ	動目木
10・11	猪股 久良	富夫	竹の熊
10・15	中山 浅一	正光	新町二

※香典返し

猪股富夫(荒倉)・河津辺(中湯田)両氏から、香典返しとして南小国町社会福祉協議会に、多額のご寄附をいただきました。ここに謹んでお礼申し上げます。